



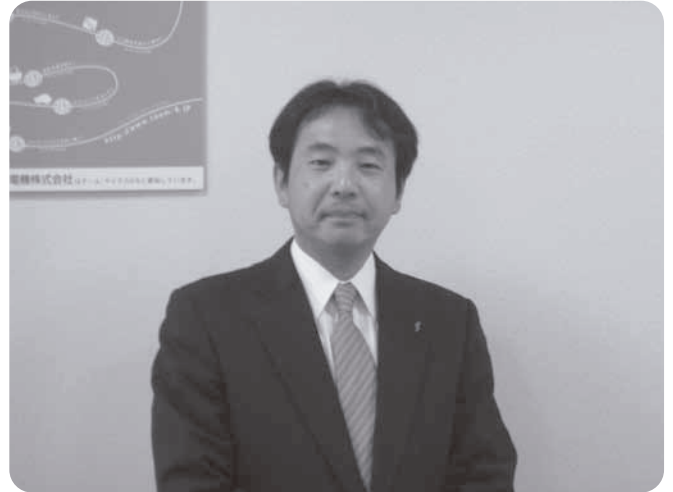
訪問しました!

こうべ男女いきいき事業所

光洋電機株式会社

今回訪問したのは、平成23年度の「こうべ男女いきいき事業所」の一つに選ばれた光洋電機株式会社です。船舶の照明機器の販売会社として1956年に神戸で創業。現在は、船舶関連以外の法人も含め、照明器具の総合商社として事業を展開しています。従業員27人の小さな企業ですが、一人ひとりがやる気を持ってのびのびと働けるよう工夫。男女の区別なく活躍できる環境を整えています。

代表取締役 木部享さん



「社員が喜んで働ける会社になりたい」と話す木部享さん

社会から必要とされる「百年企業」へ

女性10人、男性17人で構成される光洋電機株式会社。役員を除く主任以上の管理職7人のうち4人を女性が占めるなど、社内に男女の区別はまったくありません。

「何でも、やる気のある人がやるのが一番。この規模の会社なら男だから女だからと考える余裕はないですし、意味もないと思いますよ」と木部社長は笑顔で語ります。例えば、同社がインターネット販売を始めるために7年前に立ち上げたサイトは経理を担当する女性社員によって作成されました。当初は外注する計画でしたが、「専門の知識はないけど、やってみたい」と手を挙げたこの女性に木部社長がまかせる決断をしたと言います。開設当初から好評で1年目で黒字化したこの事業を通して、意欲のある社員をしっかりとサポートすることの意義を実感。この頃から、職種や事業の壁を超えたさまざまなアイデアが社員から出るようになり、社内全体のモチベーションアップにもつながっていったそうです。

昨年には同社で初めて女性社員が育児休業制度を利用しました。出産後も仕事を続けたいというその社員の意志を大切にしながら、会社を挙げてサポートする体制を整えました。

「今後も制度や前例の枠にこだわらず、その時その時で社員にとって一番良い方法を選択していこうと考えています。中小企業だからこそできることがたくさんあると思いますから」。

社員同士、あるいは社員と経営陣がともに学び、ディスカッションとコミュニケーションを深める社内勉強会もさかんで

す。そのキーワードは「人づくり」。創立から56年目を迎えた同社が今後、「百年企業」として生き残っていくには、社会から必要とされる会社であることが第一。そして、その土台となるのが社会から必要とされる人間であるというのが木部社長の持論だからです。

「人のため、社会のためと一生懸命になれる社員が連携することに企業の価値はある。私の仕事は、そんな社員一人ひとりが喜んでいきいきと働ける環境をつくること。もちろん、業務の効率化や残業時間の削減、資格取得の支援などにも力を入れていますよ」。

誰もが能力を発揮して活躍できる企業風土を。「人」を財産と考える同社ならではの取り組みが着々と進んでいます。

社員からひとこと

経理課／ネット販売 リーダー 田邊奈緒美さん

経理社員として勤務しながら、興味を持ったネット販売に携わらせていただいています。会社には大変な決断をしていただいたと思います。今後さらに規模を大きくし、次期メンバーに継承することが会社への一番の恩返しと考えています。また、経理課のリーダーとしても女性社員がより働きやすい職場をつくっていきたいと思っています。

業務課／リーダー 福森文子さん

私たち業務チームは、常に高い意識を持って意見を出し合っています。ミーティングを重ねることでチーム意識も芽生えてきました。自分の仕事が終わったら、声を掛けて助っ人に。チームの皆が同じ気持ち・同じベクトルを持って仕事ができるよう、チーム一丸となって日々前進したいと思っています。